

献 辞

関根幸雄先生は2019年3月31日をもって本学をご退職されました。関根先生の長年にわたる本学ならびに商学部へのご貢献に深く感謝し、本号を先生の退職記念号としてお贈りいたします。

関根先生は1974年3月に青山学院大学経済学部経済学科卒業後、東京商工会議所に1994年3月まで勤務され、主幹・調査役の重責を担われました。その間、中小企業庁国際化対策事業において、日本商工会議所米国カンザス・シティ事務所事務所長も務められております。1994年4月に広島修道大学商学部にビジネス英会話担当の専任講師として赴任され、1995年4月に助教授、2001年4月に教授に昇進され、ご退職まで一貫して本学で教育・研究・運営に当たってこられ、本学の発展に多大な貢献をされました。

先生のご専門は「国際ビジネスコミュニケーション」「ビジネス英語」であり、国際ビジネスにおける意思と内容を正確に相手に伝える適切な英語表現の選択の研究と実務の発展に尽力されてきました。通信手段の多様化や対象分野の拡がり、さらには異文化コミュニケーションとしての観点から研究を拡大されております。そのなかで、狭義のビジネス英語である貿易通信の研究・教育のウエイトが低下している状況を貿易立国である我が国の将来のために憂慮する先生のご指摘は、大学関係者のみならず、日本社会全体として真摯に受け止めるべき問題であります。

教育面では、国際ビジネスを担いうる人材の育成に尽力いただきました。また、英語科目も担当していただきましたが、英語に苦手意識

を持つ学生にも丁寧に優しく授業をされ、英語を学ぶ楽しさを教授していただきました。常に笑顔を絶やさない先生のお人柄は多くの学生に慕われております。

社会的活動では、日本貿易実務検定協会主催貿易実務検定試験「貿易実務英語」科目の校閲、『最新貿易実務ベーシックマニュアル』の「英語ビジネスレターの基礎表現」、「貿易実務英語用語集」の執筆などを担当され、2016年からは同協会の顧問を務められています。また現在、同協会のホームページで貿易実務英語に関するコラムも連載されています。

先生は商学部の行事には積極的に参加され、同僚教職員や学生諸君と親しく温和に懇親される姿が心に残っています。また、学部の運営や学生指導にかかわる問題について、常に深い見識に立った的確なご助言をいただけてきました。

どうぞ今後とも、ご健康に留意され、一層ご活躍されますよう教職員一同心から期待いたしておりますとともに、将来にわたりご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げて、献辞とさせていただきます。

2019年10月14日

広島修道大学商学部長 仲 村 靖